

当院では血便、下血外来を行っております

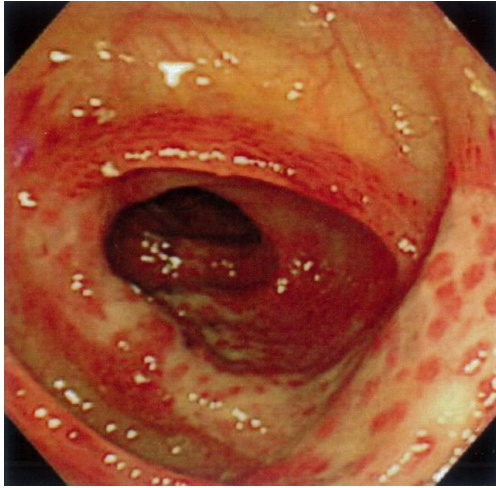
- 便に血液が付着している
- 便の色が黒い
- 排便後のティッシュに血液がつく
- 排便時に血液が便器に滴り落ちる

血便・下血を起こす原因

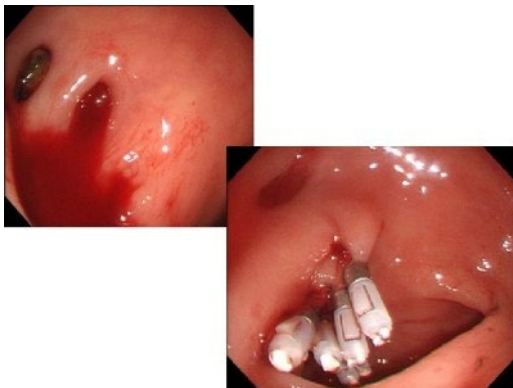
- ① 感染性疾患(細菌性、ウイルス性、アメーバ性、偽膜性腸炎)



② 虚血性腸炎



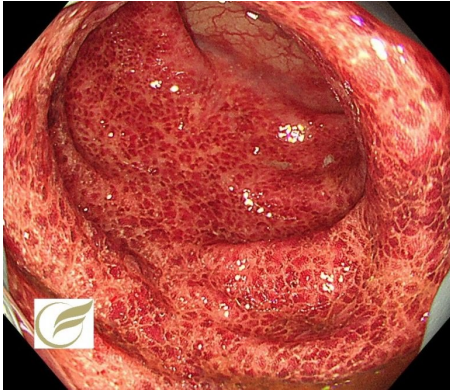
③ 大腸憩室症(大腸憩室出血)



④ 痔核(いぼ痔、切れ痔)



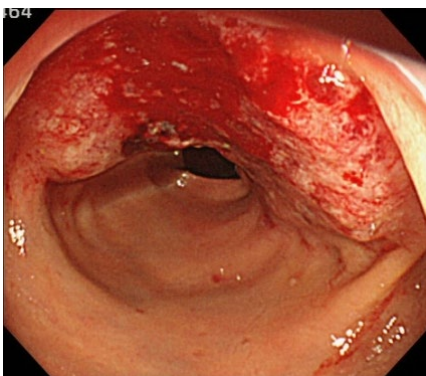
⑤ 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)



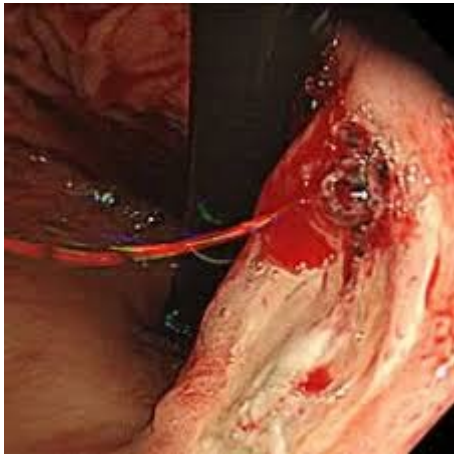
⑥ 大腸ポリープ



⑦ 消化管がん (大腸がん、直腸がん)



⑧ 消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍、小腸潰瘍)

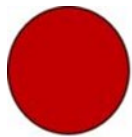


⑨ その他



血便の性状/色調から疾患の手がかりを掴む

- 鮮血便(真っ赤) : 直腸がん、肛門管がん、直腸ポリープ、いぼ痔、切れ痔等
- 赤褐色～暗赤色 : 大腸憩室出血、大腸がん、感染性腸炎、小腸出血等
- 黒色便(タール便) : 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、小腸潰瘍、小腸腫瘍等
- 粘血便 : 炎症性腸疾患、アメーバ腸炎などの感染性大腸炎等



鮮血便:いわゆる血液の色をしています。
便器が真っ赤になりびっくりされる方もいます。



暗赤色便



黒色便(タール便):海苔の佃煮のようなべとっとした
黒色の便です。独特の生臭い臭いがすることが多いです。

血便、下血は消化管から出血し、便に血液が混ざったり、排便時に排出された状態です。鮮血便～黒色便まで色調には幅があり性状や色調により消化管のどの部位から出血しているのがある程度類推できます。確実な診断と治療につながる**内視鏡検査**は非常に有用です。

血便時の検査

血液検査：貧血・炎症の有無を確認します。

腹部エコー：腸管の炎症・浮腫、腹水、腫瘍性病変の有無を確認します。

胃カメラ：黒色便(タール便)を認めた際、貧血を認めた際は食道～胃～十二指腸の出血源の有無を確認し、出血時は緊急止血術も行います。

大腸カメラ：血便を認めた際、貧血を認めた際は直腸～結腸～終末回腸の出血源の有無を確認し、出血時は緊急止血術も行います。



適切な診察、検査により正確な診断を行い最適な治療へと結びつけて参ります。

友寄クリニック

